

Maebashi Ikuei High School Journal



前橋育英 高校報

題字 中村有三 学園長

建学の精神 ～正直・純潔・無私・愛～

心に火をつけよう

～ 創立50周年を迎えて～



CONTENTS



特集 2・3面

- ・創立50周年 ご挨拶 記念式典
- ・卒業生教諭情報交換会
- ・進路・スポーツ実績



保護者会だより 4・5面

- ・創立50周年 記念講演会
- ・育英祭
- ・吹奏楽部 定期演奏会
- ・夏の甲子園 全国制覇
- ・マナーアップ



同窓会だより 6面

- ・同窓会長挨拶
- ・親子二代同窓生
- ・私の近況報告



後援会だより 7面

- ・後援会長挨拶
- ・創立50周年 祝賀会
- ・総会報告
- ・優秀育英生



トピックス 8面

- ・県総文祭
- ・百人一首関東大会
- ・科学部成果発表
- ・軟式野球関東大会
- ・全国大会出場決定

学園長挨拶

守護神のようなお地蔵さん



中村 有三

育英高校の西南にお地蔵さんが、今も変わらず立っています。

育英高校の守り神のような存在です。私は、創立の時、校地となる場所を探していました。

迂余曲折を経てこの地に決まるとき、黄金に波打つ稲田一万十三坪の校地

理事長挨拶

五十周年を迎えて



中村 義寛

前橋育英高等学校は昭和三十八年の創設から五十周年を迎えることが出来ました。この間二万二千名近くの卒業生を輩出し、それぞれの方々が各方面でご活躍されておりま

す。今年の夏、前橋育英硬式野球部は、群馬県大会を順調に勝ち上がり、第九十五回全国

なる予定地をここで眺望して見ました。

遙か向こうに赤城山、眼下に流れる利根川、そして上毛三山と共に連なる山々、こんな環境の良い学校はどこにもない、まさしく、群馬を象徴する場所と

感じ、大きな夢がふくらんできました。建学の精神、学園の構想、夢と希望の中に今日を迎えた五十年の月日、文武両道をめざして輝かしい実績を重ねてきました。これからの五十年、学園の理想に向かって、皆さんの努力に期待しています。

高等学校野球選手権記念大会に初出場、初戦を突破し甲子園で初めての校歌を歌い、その後順調に勝ち上がり、準々決勝の常総学院戦では九回二アウトランナーなしから奇跡の粘りをみせ同点に追いつき、延長十回にサヨナラ勝ち。これでチームは波に乗り全国制覇の偉業を成し遂げ、最後まで諦めない野球で多くの人たちに感動を与え、五十周年の記念すべき年に大輪の花を添えてくれました。また、今回の甲子園出場、五十周年記念の募金活動にたくさんの方々に協力いただきました事に対し、心より御礼申し上げます。

校長挨拶

新たな希望を



竹淵 敏

前橋育英は五十年前に生まれました。命を授かり、日々鼓動し生き、成長し続けています。人間はこの世に生を受け、それぞれの命を全うしますが、学校が命の終焉を迎えるとは限りません。巣立った同窓生にとつては永遠の母校として存在し、地域や社会、関係する全ての人々によって生き続けることができるのです。

人間の成長には責任が伴いますが、私たち前橋育英も生まれた日のことを大切に思うことで、かけがえのない命の重さ、互いに寄り添い助け合うことの責任を改めて実感しています。

この知命の年に、過去を振り返ることで、未来への責任を担うことが私たちに求められています。未来とは地図のない道、海図のない大海原のようなものです。希望を胸に、皆様方と共に勇気と共感を発信できる学校をめざしていきます。新たな命の船出に向けて、強風も追い風に変えて。

卒業生教諭情報交換会 vol.3

～教育現場から期待すること～ 11月21日(木)

恒例となった卒業生教諭情報交換会が、今年も盛大に行われました。出席して下さった先生方は教師としての経験を積み重ねる中、忘れられない思い出や、特別に熱い母校への思い、そして期待など様々なお話を聞くことが出来ました。まず竹淵校長より、「今年は甲子園の優勝など素晴らしい成果が上がりました。これまで築いてきた中学校との信頼関係をさらに強固にし、ネットワークを広げていきたいと考えています。様々な情報の提供をよろしく願います。」と挨拶がありました。

【小川真太郎先生】前橋育英にはすこい潜在能力があると思います。今後も是非、文武両道を強く推し進めていってほしいと思います。

【齋藤大輔先生】甲子園初優勝に伴い前橋育英の今年度入試については皆が注目していますので、基準については慎重に設定してほしいと感じています。



齋藤先生

【中川徹先生】三者面談の前に情報を取り取りができるか親や生徒に語りやすくていいです。併願のボーダーラインについては変わらないことが大切だと思います。

【佐藤実可子先生】前橋育英には部活だけ、勉強だけに重点を置くカリキュラムではなく、どちらも頑張れるカリキュラムを模索してほしいと思います。

【竹淵校長】三者面談の前または面談中、面談後、いつでも相談してください。私たちはいつでも伺って相談に応じます。一人の生徒についてでも結構です。と連絡してください。

【小池和幸先生】学校見学会については地区が限定されているため行けないことがあります。ネット上で行ける日にちを希望できるようになっています。と保護者にとってもありがた

情報不足があります。学校見学会は受験の意思を固める良い機会になります。積極的にアピールし、より良い方法で見学会を開催してください。



新井先生

【中村哲次郎先生】今日ここに来ている先生方は本気で前橋育英の事を考えている。私達の意見は心からの言葉ですので前向きに検討して下さい。



中村先生

【玉田和彦先生】私達が高校生だった時代は今よりずっと色々な生徒が在籍していましたが、多く三年間温かく指導して頂き、多くの生徒が立派に卒業して行きました。これからも今まで大切にしてきた前橋育英の教育力を大切にしてほしいと思います。いつでも生徒一人一人を暖かく長い目で見て育てる前橋育英の良さを持ち続けて欲しいです。

最後に山田教頭先生より「出席頂いた先生方に共通して言えることは前橋育英を本当に愛していること。そして現在も卒業生であることにプライドを持って教職にあたりたいこと。強く感じました。先生方も我々も預かった生徒に対しては責任を持って育て、充実した三年間にしてあげられるよう頑張らしましょう。」と締めめの挨拶がありました。

進路

～きっと見つかる、いろんな夢～

過去3年間進路実績

大学合格者数 **1,179名** (現役1,088名)

国公立大学合格者数 **127名** (現役111名)

私立大学合格者数 **1,052名** (現役977名)

キャリア教育



キャリア教育の具体的な実践として、年四回「進路の日」を実施しています。今年も六月に教育実習生とのシンポジウムで先輩達の高校時代から受験、大学生活までの話を聞きました。九月はI類に現役東大生、II類にはOB・OGの地元国公立大生、III類保育科には社会人卒業生を招き、具体的な受験対策や社会人としての心構えなどの助言を頂きました。二月には、OB・OGによる就職内定報告会を予定しています。

キャリア教育の具体的な実践として、年四回「進路の日」を実施しています。今年も六月に教育実習生とのシンポジウムで先輩達の高校時代から受験、大学生活までの話を聞きました。九月はI類に現役東大生、II類にはOB・OGの地元国公立大生、III類保育科には社会人卒業生を招き、具体的な受験対策や社会人としての心構えなどの助言を頂きました。二月には、OB・OGによる就職内定報告会を予定しています。

進路ガイダンス

三年生は六月、二年生は十一月に県内外を代表する大学、短大、専門学校や就職、公務員希望と生徒に希望分野に対応した講義構成だったため、生徒にとっては希望大学の生の授業を体験できるという、講義終了後も質問の生徒で賑わっていました。



二年生は十一月に県内外を代表する大学、短大、専門学校や就職、公務員希望と生徒に希望分野に対応した講義構成だったため、生徒にとっては希望大学の生の授業を体験できるという、講義終了後も質問の生徒で賑わっていました。

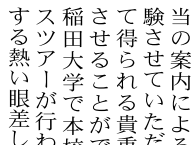
進学合宿



今年から舞子高原に場所を移し、本校のために全館貸切という好環境の下、七月二十二日～二十五日まで日程で実施しました。二、三年生は各自の計画に基づいた完全自主学習、一年生は三教科(英数国)二時限ずつの講義と自主学習の二本立てで、各学年とも一日十一時間以上、四日間、三十五時間という学習時間を確保できました。最終日の感想文は、一人一人が充実して学習に取り組めた様子が見え、ものとなりました。

今年から舞子高原に場所を移し、本校のために全館貸切という好環境の下、七月二十二日～二十五日まで日程で実施しました。二、三年生は各自の計画に基づいた完全自主学習、一年生は三教科(英数国)二時限ずつの講義と自主学習の二本立てで、各学年とも一日十一時間以上、四日間、三十五時間という学習時間を確保できました。最終日の感想文は、一人一人が充実して学習に取り組めた様子が見え、ものとなりました。

大学見学会



稲田大学で本校OBによるキャンパスツアーが行われ、生徒達の先輩に対する熱い眼差しが感じられました。

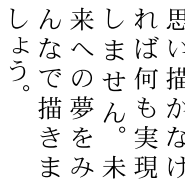


これまで秋休みを利用していた大学見学会ですが、今年十月十七日、授業日実施となり、各類型で目標とするレベルの大学を見学し、生によるキャンパスツアーや広報担当の案内による教育施設の見学を体験させていた。本物を見て初めて得られる貴重な進路意識を芽生えさせることができました。今年早稲田大学で本校OBによるキャンパスツアーが行われ、生徒達の先輩に対する熱い眼差しが感じられました。

学校法人群馬育英学園前橋育英高等学校・創立五十周年記念式典が、十月十九日に実施されました。創立五十周年の歴史を学園長が感慨深く話され、今後に向けての新たなスタートとして受けとめることができました。また、多くの来賓の方から祝辞を賜り、職員一同身が引き締まる思いでありました。この五十周年の間、前橋育英高校は、様々な形で進化してきました。しかし、建学の精神である

五十周年記念式典

10月19日(土) 第三体育館



「正直・純潔・無私・愛」の理念は不変であり、大切にしていきたいかなければなりません。常に国際的視野に立って、世界平和と社会の福祉に貢献できる人材を育成する努力を続けていかなければならないのです。本校卒業生は二万一千人を超え各界で活躍しています。この素晴らしい学校で学ぶことに誇りをもち、失敗を恐れず挑戦する勇気をもちましょう。思い描かなくても実現しません。未来への夢をみんので描きましょう。

スポーツ実績 2013 Summer~Autumn

陸上競技部

第8回 世界ユース陸上競技選手権大会

男子 【棒高跳】高木亮(3年)4m60

全国高等学校総合体育大会陸上競技大会

秩父宮賜杯 第66回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

男子 【棒高跳】高木亮(3年)5m05 優勝
【ハンマー投】梅山陽介(3年)59m54 7位

スポーツ祭 東京 第68回国民体育大会

男子 【棒高跳】高木亮(3年)4m80 6位

第17回 関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会

男子 【100m】佐川オタビオ(2年)10秒87 7位
【走幅跳】川島鶴楨(2年)6m99 5位
【三段跳】川島鶴楨(2年)14m46 3位

第48回群馬県高等学校総合体育大会

駅伝競走の部 男子 2位 女子 8位

サッカー部

男子 全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会 出場

第92回全国高校サッカー選手権大会群馬県大会 2位

U-17ワールドカップUAE ベスト16

鈴木徳真(2年) 渡邊凌磨(2年) 女子 群馬県高等学校女子サッカー選手権大会 優勝(関東大会出場)

バスケットボール部(男子)

全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 出場

第44回 全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会(ウィンターカップ)県予選会 優勝

自転車競技部

全国高等学校総合体育大会自転車競技大会

男子 【ロード】小山貴大(2年) 2位

女子 【トラック 10kmポイントレース】谷伊央里(3年) 5位

スポーツ祭 東京 第68回国民体育大会

男子 【ロード】小山貴大(2年) 11位
【トラックポイントレース】小山貴大(2年) 7位

水泳部

全国高等学校総合体育大会水泳競技大会

男子 【100mバタフライ】浮島直登(3年) 54秒93 8位

スポーツ祭 東京 第68回国民体育大会

男子 【100m背泳ぎ】千吉良優斗(1年) 58秒99 8位
【200m個人メドレー】天田雄大(1年) 2分7秒97 7位

弓道部

全国高等学校総合体育大会弓道競技大会

【個人】田中悠貴(3年) 準決勝進出

第32回全国高校弓道選抜大会県予選 男子団体 3位 女子団体 5位

ウエイトリフティング部

重量挙げ県選手権大会

男子 【56kg級】萩原拓郎(1年) トータル116kg 5位

女子 【53kg級】牛崎真由(3年) トータル132kg 1位

【58kg級】吉田悠芽(3年) トータル140kg 1位

全国対抗ウエイトリフティング選手権大会

女子 【53kg級】牛崎真由(3年) トータル134kg 9位

【58kg級】吉田悠芽(3年) トータル147kg 6位

剣道部(男子)

全国高等学校総合体育大会剣道大会

男子団体 出場

柔道部

全国高等学校総合体育大会柔道大会

男子団体 出場 【個人】90kg級 佐藤圭将(3年) 3位

女子団体 出場

硬式野球部

第95回 全国高校野球選手権大会 優勝

18U世界野球選手権大会 2位 高橋光成(2年)

スポーツ祭 東京 第68回国民体育大会 3位

軟式野球部

第54回 秋季関東高校軟式野球大会 県予選 優勝



創立五十周年記念講演会

「夢と出会いが力に...」
チームワークとコミュニケーション
日本女子サッカー代表監督 佐々木則夫

九月三十日、創立五十周年記念講演会とし、日本女子サッカー代表、佐々木則夫監督を講師に迎え、「夢と出会いが力に：チームワークとコミュニケーション」という内容で講演を行っていたいただきました。

記念講演会を終えて

保護者会長

赤木 由美子

九月三十日、サッカー女子日本代表「なでしこジャパン」の佐々木則夫監督をお迎えし、記念講演をして頂きました。佐々木監督自身の生い立ちや仕事や家族などのお話や学生時代からの交友ある山田教頭先生の話、そして二〇一一年ドイツW杯での映像などを混ぜえ生徒たちに色々なメッセージを



伝えてくださいました。中でも「なでしこらしい選手としてピッチ外でも中でも重視されていた、ひたむきさ、明るさ、芯が強い、礼儀正しさをベースに練習の時にもアプローチし、なでしこらしい選手を育て指導なさっている話やリスパクト、大切に思うこと、そして頑張っていること、そして頑張っていること、躍する事で多くの人達を惹き付け環境さえも変化する話、夢や出会いの大切さを語って頂きました。

記念講演会を終えて

三年四組 酒井 翠

普段テレビでサッカーを見たり、オリンピックやワールドカップも見ただけれど、選手が相手選手に対して誠意をもったプレーしていたことを佐々木監督の話聞き、ハイライトをもう一回見たことで改めて感じた。自分も最近親や友達など周りに感謝の意をもつて接していかなくてとは考えていたので、余計に心に響いた。

なでしこJAPANの皆さんや監督の勝利に対するひたむきさや、努力、諦めなければいつか結果につながるというところを感じた講演だった。

自分も受験が迫ってきている中で、諦めたくなったり逃げたくなったりすることがあると思うけれど、今日の講演のことを思い出したり、テレビでなでしこJAPANの皆さんを見る機会があれば、ひたむきに頑張ることの大切さを思い出して、頑張っていけるなと思う。

記念講演会を終えて

三年B組 狩野 真奈美

佐々木監督がおっしゃった通り、なでしこジャパンが優勝するまであまり興味がありませんでした。もちろん育英高校の野球部もそ

育英祭

総務委員長 狩野 誠

七月十二日(土)前橋育英高校文化祭(育英祭)が開催されました。保護者会もバザー、模擬店、作品展示で協力しました。三年生保護者は二回目、一・二年生保護者は初めてですが、全役員、育英祭を盛り上げようと準備から頑張りました。



うです。私は佐々木監督が「スポーツの力はすごい」と話をしていて、試合を観ているうちに野球にひかれ、気づけば自ら進んで甲子園応援に行っていました。頑張っている選手を見て「私も頑張ろう。」と思いました。



がなかったため近隣の方の中には落胆された方もいました。模擬店では用意した四〇〇食の「冷やしうどん」と四〇〇本近く用意したペットボトル飲料が完売しました。作品展示室では来校者の方々が出品作品に見入っていました。盛況な一日でした。そして役員一同十分に満悦しました。

張りまりました。バザー会場は五十周年事業のひとつである新築された第一体育館の二階を使用しました。開始とともに近隣の方、保護者の方が買い求め、なかには懐かしい旧役員の方も積極的に買ってくださり時間内にはほぼ売りつくしました。ただ、二年前の前回の時に販売した野菜類



第40回 定期演奏会を終えて

指揮者 熊井 正之

夢があればこそ、心が燃えて充実感や生き甲斐が生まれます。例えば結果的に目的が達成されなくても、挫けなければ気力と智慧が湧いてきます。

私は部員たちが大人になって「あの時は良かった」と言える指導を心掛けています。吹奏楽活動を通して自主性や協調性が高まり、人間的にも音楽的にも向上します。内容のある、豊かな心を持った人間を育成することこそ、クラブ活動の究極の目標なのです。

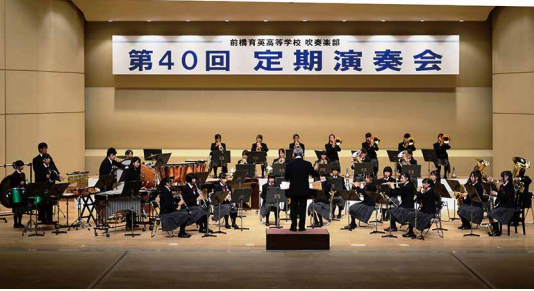
ともあれ彼らが、青春を傾けて一つの目標に向かいひた向きに努力する尊さに気付き、そこから生まれる友情の絆を実感することにより、社会の荒波に耐えて生きていく土台になると信じています。そして、美しいものを、美しいと感じる感性や、より良いものを求める姿勢を毎日の練習の中から養って欲しいということが、指導者としての願いです。

私は彼らが大人になっ

甲子園 全国制覇

甲子園 全国制覇して
硬式野球部父母会長 土谷 昌宏

皆様ご存知のように、この夏、前橋育英高校硬式野球部は悲願であった甲子園に初出場し初優勝を成し遂げ、同校の歴史、高校野球史に新たな一ページを刻みました。言うまでもなく、これは大変名誉なことであり、歴史的瞬間を味わえた事に幸せを感じております。



「あの時は良かった」と言える指導を常々心掛けています。

10年後の自分

- ① 一流のプロ野球選手になっている (荒井)
- ② タイエットに成功してやせている (小川)
- ③ 立派な美容師になっている (楠)
- ④ 生徒全員から信頼される先生 (高橋知)
- ⑤ 誰もがうらやまかっこいいお父さん (土谷)
- ⑥ 指導者になって再び甲子園に行っている (田村)
- ⑦ 幸せいっぱい「原のパパ」 (板垣)
- ⑧ ありがとを素直に言える大人になる (井古田)
- ⑨ 立派な理学療法士になる (竹内)
- ⑩ 高校野球の指導者になって甲子園出場 (富田)
- ⑪ 立派な社会人になっている (内田)
- ⑫ 甲子園に理学療法士として携わる (板橋)
- ⑬ 理学療法士として必要とされる人間 (小野)
- ⑭ 見た目は大人、頭脳は子供その名は… (若松)
- ⑮ 何事にも諦めの悪い人間になる (須川)
- ⑯ 技を身に付けた電気職人 (大竹)
- ⑰ 好きなこととして楽しく自由な生きこる (田中)
- ⑱ 上のレハルで野球をしている (高橋光)
- ⑲ 何でも自分で出来る自立した人間 (工藤)
- ⑳ 現役で楽しく野球をしている (喜多川)



今年のチームは、荒井監督をはじめとした素晴らしい指導者の下、練習を積み重ねた結果の『チームム』が特徴ではないかと思えます。あふれる笑顔、あきらめない気持ち、野球を楽しむ等、選手全員がそれぞれ役割を樂しみながらベストを尽くし、普段着野球で一戦一戦を戦った結果の全国制覇だったと思っております。優勝して多くの方々から『おめでとう』の三倍くらい『ありがとう』という言葉を感じ大変恐縮しております。



◆県民栄誉賞顕彰式 10/17(木)群馬県庁県民ホール
◆前橋市民栄誉賞顕彰式 10/22(火)前橋プラザ元気21

マナーアップ

マナーアップ運動に参加して
生徒指導委員長 辻井 恵子
県下高校において年三回マナーアップ運動は実施されています。
育英高校におきましても多くの先生方と保護者

会役員の方々の参加協力のもと、新前橋駅付近から学校周辺の十ヶ所に分散し安全確認を行っています。
実際マナーアップの生徒達は見られていることとあります。しかしやはり高校生、挨拶に関しては気持ち良く交わしてくれるので、すがすがしい思いで一杯になります。
各々通学手段は違いますが、自覚を持って交通ルールを守り、安全に登下校することを願うばかりです。

保護者会活動報告【10月・11月】
10月17日(木) 中毛地区高等学校PTA指導者研修会
11月 8日(金) 県高P連指導者研究集会

前橋育英

雄渾

同窓会
だより

新たな半世紀に向かって

同窓会長 新井 信雄
(第30期生・昭和42年度卒)



前橋育英高等学校同窓会会員の皆様、日頃より物心両面にわたり、ご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

この夏のこと、第九十五回全国高校野球選手権記念群馬県大会で前橋育英が念願の初優勝、夏の大会では初となる甲子園出場を決めました。(抱き合い喜んだ、涙を流した、雄叫びを上げた！)

そしてその甲子園球場でも、一戦一戦力をつけ日本の頂上に立ちました。すぐに結果を出してきました。

それは同窓生をはじめ学校関係者に「やればできる」という大きな夢と感動をあたえてくれた瞬間でもありません。ご存じの通り、前橋育英は文武両道を基本とし、各クラブが日々高いレベルの練習に励んでいます。

運動部は、平成二十五年度全国高校総合体育大会におい

私の近況報告

(第30期生・平成6年度卒)
木嶋 洋介

て「吹きわたれ若人の風、北部九州へ」という大会スローガンのもと、若々しい迫力で一生懸命に戦い、上位入賞者を多数出しました。

また文化面においても、百人一首愛好会・吹奏楽部・囲碁将棋部等が関東以上の大会に進み、県内外にその名を轟かせています。

加えて、清掃、募金、ボランティア活動にも積極的に取り組み、地域社会の厚い信頼をうけています。

このように多方面から高い評価をいただけるのも多士済々たる前橋育英の底力といえるでしょう。

さる十月十九日、創立五十年記念式典、祝賀会が本校第一体育館において、盛大に挙行され、学校関係者多数が歴史を振り返り、さらなる発展を祈念しました。

これからの新たな半世紀に向かって生徒と先生方には一丸となって頑張っていただし、われわれも同窓会として学校の発展を支えていきたいと考えています。

前橋育英高等学校公式

サイトにおいても同窓会の情報を発信しております。

アドレスは表紙をご参照ください。

早いもので一九九五年の卒業から十八年が経とうとしております。卒業後は日本の大学に進学後、海外大へ留学し卒業、帰国。メーカーに就職した後転職し、現在は兵庫県三宮に本社を置く、ドイツ系の化学品商社の東京支店に営業として勤務、群馬を含む日本地区を担当しております。

卒業後もサッカー部をはじめ、母校の活躍はよく耳にしております。今回、甲子園優勝を果たした野球部については、萩原先生や中沢先生など個人的にお世話になったかつての恩師達が深く関わられていた事もあり、思えば強く、毎年県予選から応援しております。夏の甲子園は、せめて決勝だけでも応援できればと思います、急遽スケジュール調整し、応援に駆けつけました。試合は三点を先制される苦しい展開でしたが直後の反撃もあり見事逆転、優勝の瞬間は涙が溢れました。あの歓喜の瞬間を現場で立ち会え、校歌を歌えたこと(意外と覚えていたものです)恩師との再会、帰りの新幹線での創立時OBの方々の乾杯など全てが一生涯の記念となりました。

仕事柄全国へ出張する事が多いですが、「前橋育英」出身であること、また故・松田直樹さんと同年代である事なども多く、県内のいた時には意識したことの高さを日々実感しております。

先日も、ある東北顧客のご息子が育英サッカー部出身であったことから親睦が深まるなど、卒業後も母校との「縁」を感じております。

社会人として、日々気付けられる事として、地味ではありますが準備の大切さが挙げられます。今回「凡事徹底」をスローガンに掲げ、日々の生活面を含め実践してきた野球部が全国制覇を成した年代となった事に備える事の大切さについて再認識させてくれました。後輩達の活躍に負けない様、更なる母校の発展に寄与できる様、日々頑張っていきたいと思います。



あらためて甲子園優勝並びに創立五十周年おめでとうございます。

(第30期生・平成6年度卒)
櫻井 勉



前橋育英高校創立五十周年おめでとうございます。加えて硬式野球部のみなさん、夏の甲子園全国制覇、感動をありがとうございます。

私は前橋育英高校体育科でサッカーに燃えた三年間を過ごし、平成七年に卒業致しました。その後仙台大学、佐川急便東北とおよそ十年間選手としてピッチに立たせていただきました。また、ジェフユナイテッド市原・千葉(ジェフ千葉)ではコーチの勉強を三年間もさせていただきました。そして平成十九年より前橋育英高校に事務職として勤務し、サッカー

親子二代同窓生

反町 光宏(第25期生)
諄平(第51期生)



前橋育英高校創立五十周年、誠にめでとうございます。私は二十五期生で硬式野球部のOBでもあります。

私は育英高校卒業後、青森大学経営学部に進学し、硬式野球を四年間続けました。現在は西澤工業(株)に勤務しております。

今年、縁あって息子もわが母校育英のスポーツ科学コースに入学し、硬式野球部にお世話になることとなりました。特に今年は感動の甲子園出場、そして夢の全国制覇と泣いたり笑っ

一部のコーチも兼務させていただいております。私が今までサッカーで学んできたいろいろなことがらを後輩達に指導できるのは、とても喜ばしく、また誇らしいことだと感じています。

父として今頑張っている君へ一言言わせてください。学校の制服を正しく着用し、誇りと自信を持って前橋育英の名入りバッグを下げて登下校している君は育英の看板です。その自覚をもつて過ごして下さい。

グラウンドでも学校生活でも全力で楽しく過ごしてくれたら本当に嬉しく思います。そして来年、再来年と活躍してもう一度甲子園で校歌を歌わせて下さい。

後援会だより

ピンチをはね返し飛躍を目指す

後援会長 前田 勇



錦秋の十月十九日（土）に前橋育英高校創立五十周年記念式典並びに祝賀会が盛大に開催され、誠にめでたうございました。
昭和三十八年四月に正直・純潔・無私・愛を建学の精神として創立され、スポーツ・

進学まさに文武両道の私学としての実績を五十年の歩みの中で築いて参りました。
特に本年は硬式野球部が創部以来の念願でありました夏の甲子園へ出場を果たし、その上、全国制覇、日本一の成果を成し遂げました。
記念すべき創立五十周年に大輪の花を添えていただきました。
試合では、厳しい場面もありましたが、見事に乗り切つて、全国優勝を勝ち取りました。

試合は荒井監督と選手の手が一つになつて、どんなに苦しいピンチも最後まで諦めないで頑張る不撓不屈の精神力を発揮して、私達に希望と感動を与えてくれました。
育英高校の野球から、これから成長する後輩や厳しい経済環境で喘ぐ市民は、「頑張れば必ずなんとかなる。」といった、ガンバリの力と勇気と希望を学びました。本当にありがとう!!

前橋育英高等学校が更なる十年、二十年に向かって、文武両道の誇りある目標を立派に築き上げてくれるものと確信して楽しみにしております。

平成二十五年度

後援会定期総会

七月五日(金)ロイヤルホテル

今年度も宜しくお願いします

副会長 加藤 圭子

七月五日(金)ロイヤルホテルに於いて、後援会の定期総会が開かれました。今年度も前田会長を中心に「チーム育英」の後援会部門は、ど

こにも負けない「応援力」をモットーに。保護者の皆様と一緒に頑張る生徒さんに声援を送つて行きたいと思つております。
会員の皆様には、これからもご協力を宜しくお願い致します。



今年度の優秀育英生を表彰



- 硬式野球部 第95回全国高等学校野球選手権大会 優勝
- 硬式野球部 高橋光成(2・12)
- 18U世界野球選手権2013二位
- 陸上競技部 高木 亮(3・11)
- 第8回世界ユース陸上競技選手権大会 優勝
- 棒高跳 出場
- 棒高跳 優勝
- 平成25年度全国高等学校総合体育大会 優勝

- 男子サッカー部 渡邊凌磨(2・11)・鈴木徳真(2・12)
- U-17ワールドカップUAE2013 ベスト16
- 吹奏楽部 第19回西関東吹奏楽コンクール 高等学校B部門 銀賞
- 放送無線部 茂木美佑奈(3・12)
- 第60回NHK杯全国高校放送コンテスト アナウンス部門 出場
- 囲碁将棋部 宮崎裕貴(2・13)
- 第37回全国高等学校総合文化祭 囲碁部門 団体戦 出場
- 囲碁将棋部 堀川亜美(2・12)
- 第37回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会 個人戦 出場
- 百人一首愛好会 福島勇氣也(2・13)
- 松本航平(2・14)
- 第20回関東高等学校小倉百人一首かるた大会 団体二位

前橋育英高校創立五十周年記念式典・祝賀会

副会長 伊藤 昌司

式典における有三先生の挨拶は基より、初めて見る開校当時の有三先生と校舎の映像は、その熱意を参加者の心に強く焼き付けました。また、祝賀会では参加者それぞれの思いが多く語られ、チーム育英の結束が固まって行くと共に、これからの育英高校が担つて行く役割も見えてきました。この良き日は、チーム育英が一丸となつて、未来に羽ばたく新たな門出となりました。



コラム育英Ⅱ

「感動」

「心」が「ふるえ」動き、感動になる。
感動は心も体も動き人の心を幸せにしてくれる、大切な事です。

その感動は今すぐ作り出したり達成したりする事は難しい事です。
では、どうしたら作り出せるのか？
それを教えてくれたのが二〇一三年の暑い夏でした。

凡事徹底「当たり前」の事を当たり前にする「徹底して行う」。この言葉の意味から感動は作り出されるのではないでしょう。難しい事だと思ひますが「凡事徹底」この言葉からいろいろな幸せを探してみませんか…。

(O記)



第19回群馬県高等学校総合文化祭

～ひらけ 青春の玉手箱～ 10/26(土)～11/17(日)

◆総合開会式 11/2(土) 群馬音楽センター

参加クラブ

- ◆吹奏楽 ◆美術 ◆書道 ◆放送無線
- ◆囲碁将棋 ◆演劇 ◆百人一首愛好会

百人一首は楽しい

福島 勇氣也(2-3)

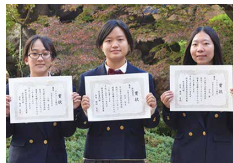
「夢や目標がある人は必ず成長できる。」両親や先生方から言われ続けてきた言葉です。この春、私は百人一首に出会い、この競技を極めてみたという夢を持ちました。

百人一首競技に必要な忍耐力、持久力、言論術等は私を成長させてくれます。今回の関東大会に県代表として参加できたことは名誉であり、応援してくれている両親や先生方の恩返しにも繋がる貴重な経験でした。今後も名人になるその日まで前進していきます。

県大会受賞

放送無線部

第10回 群馬県高校放送コンクール
 (アナウンス部門)小野 有紀乃(2-1) 優秀賞
 中島 舞(2-2) 優良賞
 (朗読部門)成田 梨生(2-1) 優秀賞



(左から)小野さん・成田さん・中島さん

囲碁将棋部

第29回 関東地区高校囲碁選手権大会
県予選
 (個人戦) 男子/宮崎裕貴(2-3) 4位
 女子/堀川亜美(2-2) 2位



長崎総文祭にて

百人一首愛好会

第20回 関東高等学校小倉百人一首かるた大会
県予選
 福島 勇氣也(2-3) 優勝
 松本 航平(2-4) 8位



(左から)福島君・松本君

軟式野球部

秋季関東高校野球大会を終えて

監督 磯田 孝寿

今大会は茨城県土浦市を主会場に十一月十四日から開催された。県大会では十一人という少ない部員で一点差ゲーム3試合、延長戦ありと粘り強い試合運びをし、2年ぶり3回目の優勝を収めることができた。しかし、一回戦文星芸大附(栃木)との対戦では序盤に失点してしまい厳しい状況の中、接戦に持ち込んだが4対5で破れてしまった。この敗戦を糧に今後の大会に臨んでいきたい。ご声援ありがとうございました。

主将 平野 祐稀(2-5)

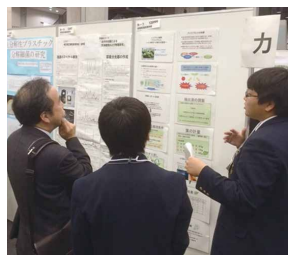
「まず一勝」という目標を持って臨みました。結果は負けてしまいましたが、内容の濃い試合ができたと思います。一人一人が試合を終えて成長したような気がしました。この経験を活かし、来年に繋げていきたいです。



試合結果

- ◆県大会決勝 対 高崎工 1-0
- ◆関東大会1回戦 対 文星芸大附(栃木) 4-5

科学部



平成二十五年度 中高生の科学部活動振興プログラム
関東地域連絡協議会 ポスターセッション参加
 十一月十日(日) 都立産業技術研究センター

科学部顧問 金子 千里

科学部では平成二十四年度より、埼玉大学理学部と連携し、アイスプラントの

有用性を探る研究を行っています。アイスプラントはベンケイソウやサボテンなどと同様に乾燥に強い性質のみならず、塩分を蓄積する性質が知られています。また、塩分と同時に重金属も吸収するのではないかと考えられています。そこで、今年度は重金属の吸収について追求しています。その成果を代表生徒二名がポスターで発表しました。

男子バスケットボール部ウインターカップ出場決定!! 12/23~29 東京体育館



顧問 古山智之

まずは本年度のウインターカップ出場権を獲得したことをご報告するとともに、ご支援・ご声援をいただいた皆様方に深く感謝を申し上げます。今夏のインターハイでは、残念ながら2回戦で強豪洛南高校(京都)に延長の末1点差負け。スタッフ・選手ともに大変悔しい思いをしました。また、ウインターカップの県予選会も苦戦を強いられました。この経験を活かし、一戦一戦を大事に戦っていきたく思います。

皆様のご声援、よろしくお願い致します。

編集後記

文化副委員長 深須 祥子

今年、夏は猛暑、秋は台風の襲来と続き、自然の力の大きさに驚かされる事が多かったです。

そんな中、育英高校野球部が、甲子園初出場、初優勝の全国制覇という偉業を成し遂げてくれ、私達に夢と感動を与えてくれました。

合同誌発行に伴い、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

合同紙広報委員

- 保護者会
- 吉井 美晴 須藤 正史 足立 祥子 深須 勝美 野口 洋子 河合 和代 蛭間 光宏 反町 尚輝 三田 久美 田村 桂子 生方 敏広 上原 靖晃 小椋 正典 岩川 義幸 神山 友信 安達 浩美 戸塚 直美 岡上 尚之 徳光 千春 塚田 尚恵 宮澤 千春